

## 検査項目

## 測定参考文献

### 蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)	田中 雅美,他:医療と検査機器・試薬 33 : 393 ~ 397, 2010.
アルブミン定量	斎藤 憲祐:臨床病理 特(101) : 38 ~ 47, 1996.
アルブミン(Alb)	浅井 孝道:検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
尿中アルブミン	舩方 栄二:検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二:検査と技術 3 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道:検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 458, 2015.

### 酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会:臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Plran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アインザイム	高木 康,他:臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	白波瀬 泰史,他:第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集会 講演会抄録集 : 40 ~ 44, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)	日本臨床化学会:臨床化学 19 (2) : 228 ~ 246, 1990.
LD(LDH)アインザイム	森山 隆則,他:Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)	桑 克彦:臨床検査 37 (5) : 473 ~ 478, 1993.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他:医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアインザイム	芝 紀代子:目でみる電気泳動法2(医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会:臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他:臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他:臨床化学 24 : 138 ~ 145, 1995.
グアナナーゼ	手登根 稔,他:検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他:臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他:臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアインザイム	星野 忠,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	林 長蔵,他:臨床検査機器・試薬 9 (22) : 225 ~ 233, 1986.
トリフリン	河野 幹彦,他:医学と薬学 53 (5) : 635~641, 2005.
膵ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (膵PLA <sub>2</sub> )	竹田 昌弘,他:ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他:肝と膵 23 (6) : 477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他:臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他:医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕:実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ヘブシノゲン	三木 一正,他:医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他:医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA]	乾 正幸,他:日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

### 低分子窒素化合物

クレアチン	今野 稔:Medical Technology 12 (3) : 270 ~ 276, 1984.
クレアチニン	安原 正善,他:臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿酸窒素(UN)	森下 芳孝:Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他:最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会:生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)[LC/MS]	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他:臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他:日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会：臨床化学 20 (4)：247～254, 1991.
ヘモグロビンA <sub>1c</sub> (HbA <sub>1c</sub> )(NGSP)	水松 良光,他：日本臨床検査自動化学会誌 41 (2)：215～220, 2016.
グリコアルブミン	石橋 みどり,他：医学と薬学 52 (3)：403～412, 2004.
ヒアルロン酸	島村 朗,他：医学と薬学 44 (6)：1141～1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他：医療と検査機器・試薬 26 (1)：45～50, 2003.
糖代謝解析	張 春花,他：金医大誌 21：399～410, 1996.
シアル酸	水田 亘,他：臨床病理 特(54)：128～134, 1983.

### 有機酸

乳酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他：腎と透析 臨増：151～157, 1997.
クエン酸	Warty VS et al：Clinical Chemistry 30 (7)：1231～1233, 1984.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他：医学検査 45 (3)：353, 1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他：労働科学 59 (12)：555～562, 1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他：日本小児科学会雑誌 89 (10)：2327～2334, 1985.

### 脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al：Chem Pharm Bull 30 (7)：2492～2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al：Clinica Chimica Acta 79：93～98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al：Clinical Chemistry 36 (1)：163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井 正光,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他：臨床検査機器・試薬 24 (1)：35～41, 2001.
HDL <sub>2,3</sub> コレステロール	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他：医学と薬学 37 (3)：635～644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他：日本臨床検査自動化学会誌 35 (1)：83～87, 2010.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫：酸化ストレスマーカー 学術出版センター：243～246, 2005.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子：小児科診療 53 (増)：394～397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔：臨床検査機器・試薬 16 (3)：472～479, 1993.
グリココール酸(CG)	金森 勇雄,他：日本放射線技師会雑誌 26 (4)：17～22, 1978.
β-リポ蛋白	金井 正光,他：臨床検査法提要 第32版(金原出版)：548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子：目でみる電気泳動法 2：91～99, 1989.
リポ蛋白分画(ポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法)	菅原 和行,他：衛生検査 27 (5)：624～627, 1978.
リポ蛋白脂質分画定量	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
リポ蛋白コレステロール(LP-C)分画定量	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他：HDL-コレステロール基礎と臨床(株)テクノ：207～220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他：日本臨床検査自動化学会誌 21 (5)：705～709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al：Clinica Chimica Acta 216：113～123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他：臨床検査 37 (12)：1267～1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他：医学と薬学 71 (1)：161～166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	田中 誠仁,佐藤 高明,他：医学と薬学 59 (3)：439～446, 2008.

### ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他：臨床検査 31 (3)：268～274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他：臨床検査 36 (3)：235～239, 1992.
ビタミンB <sub>1</sub>	宮川 秀則,他：生物試料分析 36 (4)：327～330, 2013.
ビタミンB <sub>2</sub>	大石 誠子：ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人)：71～80, 1989.
ビタミンB <sub>6</sub>	吉田 継親,他：薬学雑誌 98 (10)：1319～1326, 1978.
ビタミンB <sub>12</sub>	中森 誠,他：医療と検査機器・試薬 27 (3)：215～221, 2004.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ビタミンおよび関連物質

カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5): 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al:Analytical Biochemistry 229:329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲:臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲:臨床化学 48 (3): 239 ~ 244, 2019.
1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	Fraser WD et al:Ann Clin Biochem 34:632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5): 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7): 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenbergh JP et al: Journal of Chromatography 305: 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他:生物試料分析 35 (4): 300 ~ 309, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋:ビタミン 56 (9・10): 487 ~ 499, 1982.

### 電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358,1990.と高橋 勝幸:検査と技術20 (6): 106 ~ 110, 1992.
Cl(クロール)	関口 光夫:検査と技術 17 (9): 1167 ~ 1172,1989.と桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.
Mg(マグネシウム)	北村 元仕:実践臨床化学 1 版(医歯薬出版): 166 ~ 171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占 哲也:都臨技会誌 34 (5): 270 ~ 281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦:検査と技術 19 (2): 119 ~ 124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA: Clinica Chimica Acta 39: 81 ~ 88, 1972.
浸透圧	鈴木 明,他:検査と技術 6 (9): 759 ~ 762, 1978.

### 生体微量金属

鉄(Fe)(血清)	荒明 洋,他:臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭:臨床医 8 (10): 1624 ~ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明 洋,他:臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明 洋,他:臨床検査機器・試薬 6 (2): 359 ~ 366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al: Clinical Chemistry 35 (4): 552 ~ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al: Clinica Chimica Acta 24: 299 ~ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他:医療と検査機器・試薬 41 (3): 283 ~ 287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al: Clinical Chemistry 17 (5): 369 ~ 373, 1971.

### 生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他:臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
ビリルビン(直接, 間接)	徳田 邦明,他:臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
赤血球遊離プロトポルフィリン	新沼 幸子,他:産業医学 23: 254 ~ 259, 1981.
δ-アミノレブリン酸(δALA)	園藤 陽子,他:産業医学 35: 126 ~ 127, 1993.

### 毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロロエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロロエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 トリクロロエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 1・1・1-トリクロロエタン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロ酢酸 テトラクロロエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロロエタノール	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al: Journal of Chromatography 414: 399 ~ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサシジオン	Iwata M et al: Int Arch Occup Environ Health 51: 253 ~ 260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O: Clinica Chimica Acta 114: 53 ~ 60, 1981.
クロム	松岡 澄:産業医学13 (6): 525 ~ 537,1971.と田中 俊行,他:医学と生物学101 (5): 277 ~ 281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al: Clinical Chemistry 25 (11): 1948 ~ 1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al: Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6): 660 ~ 666, 1977.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 生化学(その他)

ネオプテリン	Hausen A et al : Journal of Chromatography 227 : 61 ~ 70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他 : 北里医学 14 : 424 ~ 430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他 : 医療と検査機器・試薬 28 (2) : 143 ~ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他 : 分析化学 53 (7) : 735 ~ 741, 2004.

### 負荷試験・機能検査

PFD(PABA排泄率)	Yamato C et al : Analytical Biochemistry 98 : 13 ~ 17, 1979.
--------------	--

### 抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
バンコマイシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テイコプラニン	諸岡 美里,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1) : 79 ~ 82, 2013.

### 抗てんかん薬

カルバマゼピン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
ジアゼパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクシミド	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
遊離フェニトイン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ブリミドン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
遊離バルプロ酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トリメタジオン	斉藤 正行,他 : ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ : 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他 : 医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
スチリベンツール	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485 ~ 494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング : 90 ~ 91, 1982.

### 免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他 : 今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.

### 循環器用薬

ジコキシシ	水内 由利,他 : 医学と薬学 35 (4) : 847 ~ 851, 1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他 : 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
プロカインアミド	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ビルメノール	市川 林,他 : 臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.

### 精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
プロムペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他 : 臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.

### 薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
サリチル酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他 : 医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.



## 検査項目

## 測定参考文献

### 血液一般・形態検査

血液一般検査	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
網赤血球数(RET)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
末梢血液像	西 国広,他:血液形態観察のすすめ方:1991.
好中球アルカリフォスファターゼ(AL-P染色スコア)	古沢 新平:臨床検査技術全書3 血液検査(三輪史朗編)第1版(医学書院):134~136,1972.
鼻汁中好酸球	奥田 稔:臨床検査 29 (3):267~272,1985.

### 凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎:臨床検査講座15 血液学:244~250,1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩:臨床検査機器・試薬 17 (6):1079~1085,1994.
トロンボテスト(TT)	藤巻 道男:臨床検査技術全書3 血液検査第1版(医学書院):489~490,1972.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第33版(金原出版):358~360,2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	Largo R et al: Blood 47 (6):991~1002,1976.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48 (4):595~599,2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他:医療と検査機器・試薬 27 (1):23~29,2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2):267~270,1991.
Dダイマー	大石 彩,他:Sysmex Journal Web 17 (4):1~10,2016.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al: Clinica Chimica Acta 79:595~602,1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他:医療と検査機器・試薬 33 (4):525~533,2010.
プラスミノーゲン	Friberger P et al: Haemostasis 7:138~145,1978.
アンチプラスミン( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター)	Friberger P et al: Haemostasis 7:138~145,1978.
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他:臨床検査機器・試薬 16 (6):1107~1113,1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他:医学のあゆみ 173 (12):997~998,1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6):629~633,1996.
凝固因子活性検査 第Ⅼ因子(F13)	Fickenscher K et al: Thrombosis and Haemostasis 65 (5):535~540,1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd:196~198,1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd:196~198,1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al: Thrombos Diathes Haemorrh 34:306~308,1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	高橋 芳右,他:臨床検査 31 (6):665~668,1987.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1):27~35,2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1):27~35,2010.
$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4):326~335,1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4):326~335,1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他:検査と技術 12 (7):581~587,1984.
プロテインC活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
プロテインS(抗原量)	鬼沢 実:臨床検査機器・試薬 13 (4):579~583,1990.
プロテインS活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626,2016.
トロンボモジュリン	横内 敬二,他:医学と薬学 44 (4):795~802,2000.

### 視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他:医学と薬学 68 (5):899~910,2012.
IGF-I(ソマトメジンC)	高須 重人,他:ホルモンと臨床 44 (4):383~391,1996.
プロラクチン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7):819~830,2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7):819~830,2017.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7):819~830,2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他:医学と薬学 72 (8):1379~1388,2015.

### 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

トリヨードサイロニン( $T_3$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
遊離トリヨードサイロニン(Free $T_3$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
サイロキシニン( $T_4$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
遊離サイロキシニン(Free $T_4$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
サイログロブリン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	山岡 美穂,他: 医学と薬学 46 (5): 753 ~ 758, 2001.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他: 医学と薬学 70 (4): 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他: ホルモンと臨床 40 (12): 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他: 医学と薬学 72 (1): 97 ~ 108, 2015.

### 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

17-KS7分画	石田 孝,他: 臨床化学 15 (1): 13 ~ 19, 1986.
血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他: 臨床化学 5 (3): 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
コルチゾール(尿)	福島 靖恵,他: 臨床検査機器・試薬 22 (6): 509 ~ 514, 1999.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他: 医学と薬学 56 (3): 443 ~ 448, 2006.
アルドステロン	塩之入 洋,他: 医学と薬学 21 (2): 293 ~ 302, 1989.

### 副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他: 臨床検査機器・試薬 11 (4): 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31): 3673 ~ 3680, 2011.
L-ドーパ	守 和子: 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーパミン総	守 和子: 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
HVA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他: 臨床化学 21 (2): 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11): 1849 ~ 1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄: 蛋白質核酸酵素 26 (9): 1089 ~ 1098, 1981.

### 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストラジオール(E <sub>2</sub> )	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
プレグナンジオール	平井 利生,他: 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他: 日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
絨毛性コナドトロピン(HCG)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	菅原 由人,他: 臨床検査機器・試薬 14 (3): 467 ~ 474, 1991.

### 膵・消化管ホルモン

インスリン	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他: 医学と薬学 72 (3): 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	飯沼 一茂,他: Radioisotopes 31 (7): 350 ~ 356, 1982.

### 内分泌学的(その他)

レニン活性(PRA)	廣井 直樹,他: 医学と薬学 32 (1): 81 ~ 86, 1994.
レニン定量(活性型)	土屋 ますみ,他: 医学と薬学 32 (3): 529 ~ 534, 1994.
アンギオテンシン I	岩鼻 美佐,他: 医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
アンギオテンシン II	岩鼻 美佐,他: 医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
サイクリックAMP	孫 孝義,他: 日本内分泌学会雑誌 61 (9): 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	松岡 泰弘,他: 医療と検査機器・試薬 33 (4): 535 ~ 540, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他: 医学と薬学 64 (6): 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他: 医学と薬学 67 (2): 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他: Osteoporosis Japan 13 (3): 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他: 医学と薬学 57 (4): 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他: 臨床検査 35 (13): 1360 ~ 1364, 1991.
FGF23(CLEIA)	和泉 裕一,他: 医療と検査機器・試薬 42 (3): 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al : Clinica Chimica Acta 371 : 163 ~ 168, 2006.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
$\alpha$ -フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9): 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
CA602	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
CA15-3	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他:医学と薬学 72 (7): 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9): 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6): 705 ~ 710, 1986.
シアリルLe <sup>x</sup> -I抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5): 1315 ~ 1321, 1987.
シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5): 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11): 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他:脾臓 3 (4): 528 ~ 539, 1988.
SCC	林 圭織,他:医学と薬学 76 (12): 1809 ~ 1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他:医学と薬学 76 (11): 1635 ~ 1641, 2019.
PSA-ACT	大野 明美,他:医学と薬学 49 (2): 325 ~ 332, 2003.
$\gamma$ -セミノプロテイン( $\gamma$ -Sm)	佐藤 達郎,他:医学と薬学 43 (1): 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 597 ~ 602, 2006.
5-S-システニルドーバ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al : Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他:医学検査 68 (1): 56 ~ 60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他:医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他:医学と薬学 75 (8): 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	LuftnerD, et al : The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他:医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.

### ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他:臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原	志村 嘉彦,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 553 ~ 558, 1995.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他:医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	山口 芳子,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1161 ~ 1166, 1994.
HBs抗体	蒲池 正次,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	田中 靖人,他:臨床病理 54 (7): 692 ~ 698, 2006.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他:医学と薬学 66 (6): 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他:臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.
HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他:医学と薬学70 (3): 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al : Journal of Clinical Microbiology 35 (1): 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA 1b(NS5A)	Enomoto N et al : The New England Journal of Medicine 334 (2): 77 ~ 81, 1996.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他:日本臨床検査自動化学会誌 36 (2): 267 ~ 274, 2011.
HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)	Uchida Y et al : PLoS One 9 (11)e 112647: 1 ~ 7, 2014.
HCV 薬剤耐性変異 NS3-D168	Suzuki F et al : Journal of Clinical Virology 54 (4): 352 ~ 354, 2012.
HCV NS5B-S282変異	Suzuki F et al : Journal of Clinical Virology 54 (4): 352 ~ 354, 2012.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他:医学と薬学 53 (4): 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS : Molecular and Cellular Probes 4 : 237 ~ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他:医学と薬学 69 (1): 157 ~ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al : Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al : Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他:臨床病理 60 (7): 621 ~ 626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al : Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al : Cancer Cytopathology 108 (6) : 468 ~ 474, 2006.
アデノウイルス抗原	Espy MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 88 (3) : 358 ~ 360, 1987.
アデノウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al : Journal of Clinical Microbiology 31 (7) : 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 8型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 抗原	Gleaves CA et al : Journal of Clinical Microbiology 21 (1) : 29 ~ 32, 1985.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他:感染症学雑誌 61 (9) : 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al : J Invest Dermatol 82 : 391 ~ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他:生物試料分析 36 (3) : 229 ~ 234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(シェル・バイアル法)	紺野 謙治,他:臨床とウイルス 17 (1) : 89 ~ 95, 1989.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	新村 真人,他:感染症学雑誌 64 (2) : 195 ~ 201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他:臨床とウイルス 13 (4) : 490 ~ 496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他:医学と薬学 42 (4) : 641 ~ 645, 1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他:日本臨床 50 (特別号) : 160 ~ 165, 1992.
サイトメガロウイルス 抗原	紺野 謙治,他:臨床とウイルス 17 (1) : 89 ~ 95, 1989.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他:今日の移植 7 (6) : 553 ~ 559, 1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他:臨床血液 34 (11) : 1438 ~ 1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
サイトメガロウイルス IgM	厚生省監修 : 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊 : 48 ~ 61, 1987.
サイトメガロウイルス DNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6) : 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3) : 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス DNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
EBウイルス核酸定量	Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132 ~ 136, 1999.
EBウイルス核酸定量(WBC)	Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132 ~ 136, 1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al : Cell 47 : 883 ~ 889, 1986.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型 IgG	浅野 喜造,他:臨床と微生物 16 (2) : 147 ~ 152, 1989.
ヒトヘルペスウイルス6型 IgM	浅野 喜造,他:臨床と微生物 16 (2) : 147 ~ 152, 1989.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他:蛋白質核酸酵素 35 (17) : 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
エンテロウイルス RNA 定性	川俣 治 : 新潟医学会雑誌 111 (10) : 633 ~ 646, 1997.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会 : ウイルス実験学 総論 2版(丸善) : 260 ~ 274, 1973.



## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 3型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 7型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 11型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 12型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAR株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
日本脳炎ウイルスRNA 定性	森田 公一,他：日本臨床 50 (特別号)：285～289, 1992.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス抗原	Espy MJ et al：Journal of Clinical Microbiology 24 (4)：677～679, 1986.
インフルエンザウイルスRNA 定性	Zhang W et al：Diagnostic Molecular Microbiology：373～382, 1993.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス抗原	紺野 謙治,他：臨床とウイルス 17 (1)：89～95, 1989.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

ラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
麻疹ウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルスRNA 定性	Godec MS et al：Journal of Medical Virology 30：237～244, 1990.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫：医学と薬学 42 (2)：303～306, 1999.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス RNA 定性	Yamada A et al：Vaccine 8 (6)：553～557, 1990.
HTLV-I (ATLV) 抗体(PA)	池田 幹雄,他：図説臨床症シリーズ 9：42～50, 1986.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Medical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-2抗体	菱田 靖,他：医学と薬学 27 (4)：959～970, 1992.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
HIVスクリーニング	照屋 勝治,他：感染症学雑誌 82 (1)：20～25, 2008.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

### 感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマトリス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一：日本臨床 39 (6)：685～688, 1995.
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	土屋 彦治,他：臨床検査機器・試薬 7 (2)：417～422, 1984.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
ブルセラ凝集反応	Carmichael LE et al：J Am Veterinary Medical Association 152 (6)：605～616, 1968.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	福田 雅之助,他：医学と薬学 62 (3)：501～506, 2009.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量RPR法	福岡 良男：新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版)：361～364, 1997.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量TPHA	出口 松夫,他：感染症学雑誌 68 (10)：1271～1277, 1994.
FTA-ABS	山屋 駿一：微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版：H83～H91, 1995.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 感染症(非ウイルス)関連検査

寒冷凝集反応	原島 典子,他:衛生検査 27 (1):67~71,1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他:自治医科大学臨床検査技師年報 12:62~64,1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3):270~274,1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンス抗原	篠田 孝子,他:真菌と真菌症 30 (3):211~221,1989.
カンジダマンナン抗原	梶山 晃弘,他:臨床検査機器・試薬 23 (3):197~203,2000.
アスペルギルス抗体	浜本 恒男:臨床と微生物 15 (3):352~356,1988.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1):207~212,1999.
$\beta$ -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:感染症学雑誌 79 (7):433~442,2005.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1):7~11,2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7):743~747,1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7):743~747,1994.
抗アニサキスIgG・A抗体	安土 孝則,他:臨床検査機器・試薬 15 (1):68~72,1992.
結核菌特異的IFN- $\gamma$	Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24:529~536,2005.

### 自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7):687~692,1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8):1096~1102,1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6):747~753,2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5):763~767,2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6):747~753,2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5):763~767,2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2):345~355,2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1):109~117,2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3):239~245,2008.
抗セントロメア抗体	宮脇 昌二,他:医学と薬学 45 (1):129~135,2001.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4):835~838,1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1):109~117,2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2):133~138,2011.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1):17~22,2010.
IgG型リウマチ因子	栗原 夕子,他:リウマチ科 22 (5):499~510,1999.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5):817~828,1999.
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3):569~576,2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進,他:臨床免疫 7 (7):825~830,1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3):485~495,2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7):825~830,1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12):1085~1089,1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al: Clinical Chemistry 51 (1):232~235,2005.
ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12):1769~1780,2019.
抗甲状腺 マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査 28 (1):99~101,1984.
抗甲状腺 ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
抗甲状腺 サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 6 (4):1007~1010,1983.
抗サイログロブリン抗体	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	上條 桂一,他:医学と薬学 71 (5):903~911,2014.
TSHレセプター抗体	西 功,他:医学と薬学 39 (5):1031~1039,1998.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4):563~570,2001.
TSHレセプター抗体(第3世代)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3):317~326,2017.



## 検査項目

## 測定参考文献

### 自己免疫関連検査

抗GAD抗体	及川 洋一,他: 医学と薬学 72 (9): 1551 ~ 1560, 2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他: 医学と薬学 66 (2): 345 ~ 352, 2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3): 429 ~ 434, 2014.
抗下垂体抗体1	Sugiura M et al: Diabetes Research 3: 111 ~ 114, 1986.
インスリン抗体	内瀧 安子,他: 医学と薬学 65 (4): 525 ~ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光熙,他: ホルモンと臨床 48 (1): 89 ~ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他: 医学と薬学 70 (2): 421 ~ 428, 2013.
抗デスマグレイン1抗体	吉田 かおり,他: 医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗デスマグレイン3抗体	吉田 かおり,他: 医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他: 医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M et al: Clinical Chemistry 46 (9): 1326 ~ 1330, 2000.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他: 医学と薬学 68 (4): 697 ~ 704, 2012.
精子不活化抗体	香山 浩二: 日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
精子不活化抗体(SI50)	香山 浩二: 日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤 守孝,他: Modern Physician 15 (12): 1545 ~ 1550, 1995.
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	佐藤 久美子,他: 臨床病理 43 (3): 263 ~ 268, 1995.
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴: 医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot$ $\beta_2$ GP I 抗体)	野島 順三,他: 医学と薬学 32 (6): 1315 ~ 1320, 1994.
抗カルジオリピン抗体(IgG)	岡田 純,他: 医学と薬学 36 (6): 1389 ~ 1394, 1996.
抗カルジオリピン抗体(IgM)	鎌木 淳一,他: 医学と薬学 43 (6): 1183 ~ 1188, 2000.
抗血小板抗体	柴田 洋一: 輸血学 (中外医学社): 457 ~ 470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他: 臨床病理 32 (11): 1253 ~ 1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子 $\cdot$ ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸: 医学と薬学 68 (3): 547 ~ 555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他: 医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他: 医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他: 医学と薬学 46 (1): 109 ~ 114, 2001.
免疫複合体(C1q)	中村 敏男,他: 臨床免疫 14 (S5): 92 ~ 100, 1982.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他: 医学と薬学 27 (2): 347 ~ 354, 1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他: 医学と薬学 73 (10): 1297 ~ 1300, 2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明: 病理と臨床 6 (増): 10 ~ 13, 1988.

### 免疫血液学的検査

ABO $\cdot$ Rh(D因子)式血液型	長田 広司: 医薬ジャーナル 32 (S1): 215 ~ 219, 1996.
Rh-Hr式血液型	長田 広司: 医薬ジャーナル 32 (S1): 215 ~ 219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人: 日本臨床 26 (2): 262 ~ 272, 1968.
直接クームス試験	浅井 隆善: 医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.
間接クームス試験	浅井 隆善: 医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.
不規則性抗体(抗体同定 $\cdot$ 抗体価測定)	浅井 隆善: 医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.

### 免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgA	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgM	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第31版(金原出版): 823 ~ 827, 1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他: 医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG2	川 茂幸,他: 医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG4	松木 友里,他: 医学と薬学 75 (7): 849 ~ 858, 2018.
免疫電気泳動〔抗ヒト血清による同定〕	大谷 英樹,他: 日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕	大谷 英樹,他: 日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕(DIRA)	McCudden C, et al: Clin Chem Lab Med 54 (6): 1095 ~ 1104, 2016.
免疫グロブリン遊離L鎖 $\kappa$ / $\lambda$ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他: 医学と薬学 74 (8): 945 ~ 950, 2017.
尿中免疫電気泳動〔尿中ヘンズジョーンズ蛋白の同定〕	大谷 英樹,他: 日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他: 最新電気泳動実験法(医歯薬出版): 61 ~ 74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他: Medical Technology 6 (8): 619 ~ 624, 1978.

### 補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他: 臨床検査機器 $\cdot$ 試薬 19 (4): 609 ~ 613, 1996.
C3	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第31版(金原出版): 833 ~ 837, 1998.
C4	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第31版(金原出版): 833 ~ 837, 1998.
C1q	櫻林 郁之介,他: 臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒター活性)	Dick W et al: Immun Infekt 13: 113 ~ 118, 1985.



## 検査項目

## 測定参考文献

### 血漿蛋白

ブレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
$\alpha_1$ -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器・試薬 11 (3): 469 ~ 476, 1988.
$\alpha_1$ アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
$\alpha_1$ アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
$\alpha_2$ -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7): 593 ~ 598, 1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
$\beta_2$ -マイクログロブリン	伊藤 浩治,他:医療と検査機器・試薬 26 (2): 127 ~ 134, 2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	河合 忠,他:臨床検査機器・試薬 20 (4): 503 ~ 517, 1997.
ペントラクシン3(PTX3)	Inoue et al: Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1): 161 ~ 167, 2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1): 19 ~ 23, 1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
尿中ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5): 629 ~ 632, 2010.
心室筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3): 443 ~ 449, 2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 493 ~ 497, 2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)[CLEIA]	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6): 615 ~ 620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al: Ann Clin Biochem 49 (2): 190 ~ 193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al: The New England Journal of Medicine 325 (10): 669 ~ 674, 1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2): 357 ~ 365, 2013.
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)	Hanson DA et al: Journal of Bone and Mineral Research 7 (11): 1251 ~ 1258, 1992.
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)	Hanson DA et al: Journal of Bone and Mineral Research 7 (11): 1251 ~ 1258, 1992.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12): 1189 ~ 1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1): 72 ~ 77, 2015.
オートタキシン	島本 怜史,他:東ソー研究・技術報告 第61巻: 99 ~ 103, 2017.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)[CLIA]	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9): 1579 ~ 1590, 2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 439 ~ 444, 1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S	長田 篤雄,他:医学と薬学 20 (6): 1507 ~ 1515, 1988.
デオキシピリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
ECP	栗原 和幸,他:アレルギー 41 (4): 512 ~ 518, 1992.
KL-6	桜庭 尚哉,他:医学と薬学 61 (4): 629 ~ 635, 2009.
プロカルシトニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4): 459 ~ 467, 2016.

### 免疫血清学(その他)

リン酸化タウ蛋白	B Van Everbroeck et al: J Neurol Neurosurg Psychiatry 73: 79 ~ 81, 2002.
タウ蛋白	T.Nishimura.et al.: Methods Findings 20: 227 ~ 236, 1998.

### サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他:医学と薬学 75 (12): 1611 ~ 1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	安江 智美,他:アレルギーの臨床 34 (10): 60 ~ 65, 2014.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ: Clinical Chemistry 37 (9): 1472 ~ 1481, 1991.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他:医学と薬学 36 (5): 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al: Journal of Immunological Methods 177: 225 ~ 234, 1994.

### アレルギー検査

IgE(非特異的IgE)[CLEIA]	榎本 雅夫,他:アレルギーの臨床 23 (1): 62 ~ 66, 2003.
特異的IgE(MAST36アレルゲン)	中川 武正,他:アレルギーの臨床 26 (3): 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健:アレルギーの臨床 38 (12): 1145 ~ 1151, 2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田 聖恵:医学と薬学 73 (6): 721 ~ 726, 2016.
特異的IgE(ミックスアレルゲン)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルゲン)[CLEIA]	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルゲン)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 細胞性免疫検査

CD34定量	Chen CH et al : Journal of Hematotherapy 3 : 3 ~ 13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会 : 日本臨床検査標準協議会誌 18 (2) : 69 ~ 85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他 : 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他 : 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他 : 臨床免疫 15 (9) : 727 ~ 736, 1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月 健彦,他 : 移植 14 (2) : 93 ~ 113, 1979.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al : Immunology 44 : 865 ~ 871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
IgG-FcR <sup>+</sup> ・T細胞百分率	Perussia B et al : The Journal of Immunology 130 (5) : 2133 ~ 2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他 : 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他 : 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
Th1/Th2 (IFN- $\gamma$ × IL-4/CD4)	渋谷 和子 : 細胞工学 17 (5) : 807 ~ 816, 1998.
NK細胞活性	康 浩一,他 : Medical Technology 21 (7) : 574 ~ 580, 1993.

### 抗原特異的CTL

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)	馬場 俊之,他 : 血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)	馬場 俊之,他 : 血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.

### 先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 : 971 ~ 972, 1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al : Exp Cell Res 75 : 304 ~ 306, 1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al : Hereditas 67 : 89 ~ 102, 1971.
染色体 高精度分染法	Ikeuchi T et al : Proc Japan Acad 55 (1) : 15 ~ 18, 1979.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR : Science 197 : 265 ~ 266, 1977.
1染色体(1p36欠失症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
5染色体(ソトス症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
7染色体(ウイリアムス症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(ブリーダーウィリ症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
17染色体(ミラーディカー症候群)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
18染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
21染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

### 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M: The Lancet 2 971 ~ 972, 1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CKS1B 1q21 増幅	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ALK 2p23転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCL6 3q27転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

FIP1L1-PDGFR $\alpha$ del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
8染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
FGFR1 8p11.2転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
KMT2A(MLL) 11q23.3転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

### 固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤 譲治 : 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

### 造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al : Leukemia 11 : 1147 ~ 1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96 ~ 102, 2003.
NPM1 変異解析	Gorello P, et al : Leukemia, 20 (6) : 1103 ~ 1108, 2006.
KIT シーケンス解析(白血病)	E Barragan, et al : Hematologica 89 (8) : 920 ~ 925, 2004.
JAK2V617F遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他 : 臨床血液 59 (6) : 669 ~ 674, 2018.
MPN遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al : Cancer Science 108 (7) : 1504 ~ 1509, 2017.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他 : 臨床血液 46 (12) : 1279 ~ 1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Hirohisa Nakamae, et al : International Journal of Hematology DOI 10.1007/s12185-015-1826-9, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
TCF3-PBX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al : Blood 77 (4) : 687 ~ 693, 1991.
PML-RARA mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
PML-RARA mRNA定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577 ~ 1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
CBFB-MYH11 mRNA定性	Claxton DF et al : Blood 83 (7) : 1750 ~ 1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431 ~ 10434, 1991.
RUNX1-MECOM mRNA定性	Mitani K et al : The EMBO Journal 13 (3) : 504 ~ 510, 1994.
ETV6-RUNX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 造血器腫瘍遺伝子検査

ETV6-RUNX1 mRNA定性	Shurtleff SA et al : Leukemia 9 (12) : 1985 ~ 1989, 1995.
KMT2A-AFF1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFF1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-AFDN mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFDN mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
NUP98-HOXA9 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
STIL-TAL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al : Blood 79 (11) : 2990 ~ 2997, 1992.

### 免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖J <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>L</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨床 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.

### 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

BRAF exon15 V600E(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0 (血漿)	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)	Whitcombe, et al : Nature Biotech 17 : 804 ~ 807, 1999.
ROS1融合遺伝子定性	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
EML4-ALK 融合遺伝子定性	Horn L, et al : Journal of Clinical Oncology 27 (26) : 4232 ~ 4235, 2009.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H, et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H, et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
PIK3CA遺伝子変異解析(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al : Journal of Translational Medicine 9 : 75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H, et al : BMC Cancer 13 : 405, 2013.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
オンコマイン Dx Target Test CDx システム(FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマイン Dx Target Test CDx システム(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システム 4遺伝子解析 (FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システム 4遺伝子解析(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマイン Dx Target Test マルチ 研究用46 遺伝子解析 (FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマイン Dx Target Test マルチ 研究用46 遺伝子解析 (FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.

### 遺伝学的検査

RET遺伝子変異解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
RETシングルサイト解析	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
PRRT2遺伝子変異解析	Ono S, et al : J Hum Genet 57 (5) : 338 ~ 341, 2012.
MECP2遺伝子(exon3,4)変異解析	Thierry Bienvenu et al : Human Molecular Genetics 9 (9) : 1377 ~ 1384, 2000.
ジストロフィンDNA	Lai KKS et al : Clin Biochemistry 39 (4) : 367 ~ 372, 2006.
福山型筋ジストロフィー DNA 挿入	Watanabe M et al : American Journal of Medical Genetics 138A : 344 ~ 348, 2005.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R, et al : J Mol Diagn/pii : S1525-1578 (17) 30554-8 : Jun 25, 2018.
HTT遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.



## 検査項目

## 測定参考文献

### 薬剤応答遺伝子検査

IL28B SNPs 解析	Ito K, et al : J Clin Microbiol 49 : 1853 ~ 1860, 2011.
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	平塚 真弘 : 薬学雑誌 122 (7) : 451 ~ 463, 2002.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他 : Bio Clinica 23 (7) : 643 ~ 648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T,et al : Nat Genet, 48 (4) : 367 ~ 373, 2016.

### 移植関連遺伝子検査

HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQA1 (DNAタイピング)	浅見 あすか,他 : MHC 7 (2) : 111 ~ 112, 2000.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会 : QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	石塚 敏 : 日本組織適合性学会誌 20 (2) : 121 ~ 129, 2013.
キメリズム解析移植前レシピエント[PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー [PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植後[PCR]	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.

### 尿一般検査

尿中一般検査	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 128 ~ 148, 2015.
尿沈渣	日本臨床検査標準協議会 尿沈渣専門委員会 : 尿沈渣検査法2010 日本臨床検査標準協議会誌.

### 糞便検査

虫卵(塗抹)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
虫卵(集卵)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性・定量(金コロイド法)	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.

### 微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、尿中生菌数定量、薬剤感受性)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. 小酒井 望 : 臨床検査技術全書 7 微生物検査 初版 医学書院, 1974. 微生物検査必携 細菌・真菌検査(厚生省監修) 第3版 財団法人日本公衆衛生協会, 1987. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1989年) : Chemotherapy 38 (1) : 102 ~ 105, 1990. 抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1992年) : Chemotherapy 41 (2) : 183 ~ 190, 1993. 三原 利仁,他 : 臨床と微生物 23 (2) : 249 ~ 254, 1996. 川上 小夜子,他 : 日本臨床微生物雑誌 12 (2) : 86 ~ 92, 2002. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 永沢 善三,他 : 日本臨床微生物雑誌 第27巻 : 臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック : 5 ~ 40, 2017. 日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会 : 抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌(抗酸菌塗抹、分離培養、薬剤感受性)	蔵田 訓,他 : 臨床と微生物 37 (5) : 465 ~ 470, 2010. AJIT P.LIMAYE,他 : JOURNAL of CLIMICALMICROBIOLOGY 38 (4) : 1696 ~ 1697, 2000.
CDトキシシン(GDH)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.
結核菌群核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.

### 培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K, et al : J Clin Microbiol 44 (5) : 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H, et al : J Infect Dis 164 (4) : 825 ~ 826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	松田 静治,他 : 日本性感染症学会誌 15 (1) : 116 ~ 126, 2004.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
マイコプラズマジェネタリウムrRNA 定性	Le Roy C, et al : J Clin Microbiol 55 (11) : 3194 ~ 3200, 2017.
ウイルス分離	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 細胞診検査

細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(婦人科ベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF, et al : J Urol 168 (5) : 1950 ~ 1954, 2002.

### 病理組織検査

CD30(IHC)	長塩 亮,他 : 病理と臨床 32 (臨増) : 12 ~ 18, 2014.
エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
エストロゲンレセプター /プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一 : Pharma Medica 18 (8) : 87 ~ 92, 2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Annals of Clinical Laboratory Science 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
胃癌HER2遺伝子(FISH)	Persons DL et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 136 ~ 143, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌ALKタンパク(高感度IHC)	竹内 賢吾,他 : 臨床検査 57 (3) : 271 ~ 276, 2013.
肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌ALK遺伝子(FISH)	Scott J. Rodig, et al : Clinical Cancer Research 15 (16) : 5216 ~ 5223, 2009.
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.

### 総合解析検査

悪性リンパ腫 総合解析検査「ML-NET」	菊池 昌弘 : Medical Technology 28 (2) : 114 ~ 121, 2000.
-----------------------	--

### AIRS<sup>®</sup>・AICS<sup>®</sup>

男性AIRS(8種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(9種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.

### 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

17-OHプロゲステロン	IBL INTERNATIONAL : 17-OH-Progesterone ELISA (メーカー資料)
--------------	---

### ウイルス感染症検査

水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al : The Journal of Infectious Diseases 178 : 310 ~ 317, 1998.
ヒトヘルペスウイルス 6型DNA定量	Tanaka N et al : Bone Marrow Transplantation 26 : 1193 ~ 1197, 2000.
HCV 1b-IFN/リバビリン変異	Akuta N,et al : Intervirology 48 : 372 ~ 380, 2005.
麻疹ウイルス(PA)ワクチン	柴 賢司,他 : 臨床とウイルス 20 (1) : 35 ~ 40, 1992.

### 免疫関連検査

sFit-1	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161. e1 ~ 161. e11, 2009.
PIGF	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161. e1 ~ 161. e11, 2009.

### その他特殊検査

亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al : Analytical Biochemistry 126 : 131 ~ 138, 1982.
DNAインデックス	Vindeløv LL et al : Cytometry 3 (5) : 323 ~ 327, 1983.
DNAヒストグラム	Vindeløv LL et al : Cytometry 3 (5) : 323 ~ 327, 1983.
DNAヒストグラム(凍結)	Vindeløv LL et al : Cytometry 3 (5) : 323 ~ 327, 1983.
PCSK9	Christian Werner et al. : Vascular Pharmacology 62 : 94 ~ 102, 2014.
レプチン	鈴木 茂夫,他 : Bio Clinica 13 (12) : 1049 ~ 1052, 1998.
活性型GLP-1(抽出法)	Mannucci E et al : Diabetes Care 24 (3) : 489 ~ 494, 2001.
高分子量アディポネクチン[CLEIA]	折津 政江,他 : 医学と薬学 62 (5) : 891 ~ 898, 2009.
PCDHB DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エピジェネティクス実験プロトコル : 77 ~ 91, 2008.
miR34b/c DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エピジェネティクス実験プロトコル : 77 ~ 91, 2008.
抗ミューラー管ホルモン(AMH)	浅田 義正,他 : 医学と薬学 72 (1) : 109 ~ 118, 2015.

検査項目	測定参考文献
<b>自己抗体検査</b>	
抗皮膚抗体	吉岡 順子：皮膚 23 (1)：29～54, 1981.
抗ヒストン抗体	Burlingame RW et al：The Journal of Clinical Investigation 88：680～690, 1991.
抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA)	Bonifacio E et al：The Lancet 355：147～149, 1990.
抗好中球抗体	Lalezari P et al：Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed：344～350, 1992.
抗プロトロンビン抗体	鏑木 淳一,他：医学と薬学 47 (5)：813～819, 2002.
<b>補体系検査</b>	
C1エステラーゼ抑制因子定量	Tietz NW et al：Clinical Guide to Laboratory Tests 3rd Ed：156～159.
<b>癌関連検査</b>	
OncotypeDX Breast	Cronin et al：Clinical Chemistry 53 (6)：1084～1091, 2007
OncotypeDX Colon	Clark-Langone et al：BMC Cancer 10 (69)：1～11, 2010.
<b>神経・筋疾患検査</b>	
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	McGinnis S et al：Journal of Neuroimmunology 17：119～126, 1988.
LHONミトコンドリアDNA Evaluation	Santorelli FM et al：Neurology 44 (5)：972～974, 1994.
<b>腫瘍関連検査</b>	
Ri自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79 (11)：4022～4030, 2007.
Hu自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79 (11)：4022～4030, 2007.
Yo自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79 (11)：4022～4030, 2007.
腫瘍随伴性レチノバシー(CAR)自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79 (11)：4022～4030, 2007.